

2018（平成 30）年度 大阪府内地域連携プラットフォーム 事業報告

課題 1 大学と高校の有機的な接続・連携の強化

	会議	行事
30. 5.15	平成 30 年度高大連携部会（第 1 回） ・平成 30 年度事業検討 ・高大連携・接続勉強会 ・オープンキャンパス広報 ・新規事業	
6.25		大学コンソーシアム大阪 HP オープンキャンパス情報ページ 開示
10.3	平成 30 年度高大連携部会幹事会（第 1 回） ・フォーラムの検討 ・タイプ 5 進捗報告 ・今後の方針について	
31. 1.11	平成 30 年度高大連携部会（第 2 回） ・平成 30 年度事業進捗報告 ・タイプ 5 進捗報告 ・平成 30 年度事業の評価 ・次年度の方向性について	
3.2		平成 30 年度高大連携フォーラム

（取組 1）＜高大連携・接続の検討＞

【高大連携フォーラム】

事業概要・実施状況：https://www.consortium-osaka.gr.jp/staff/koudai_st/forum/

2019（平成 30）年 3 月 2 日に「ICT を活用した評価システムから見る高大接続改革とは」をテーマとして開催した。ファシリテーターに高大連携部会幹事会幹事の大澤 茂男氏を迎え、尾木 義久氏（関西学院大学 アドミッションオフィサー、高大接続センター 次長）による基調講演の後、事例発表者に田邊 則彦氏（清教学園中・高等学校 特任教諭）、高橋 哲也氏（大阪府立大学 副学長、高等教育推進機構 教授）を加え、パネルディスカッションを行った。当日は京阪神を中心に計 113 名（高等学校 56 名、大学 50 名、その他 7 名）の関係者が来場し、それぞれの立場から活発な意見交換がなされた。

（取組 2）＜情報発信＞

【会員大学オープンキャンパス 情報提供】

事業概要・実施状況：<https://www.consortium-osaka.gr.jp/high/oc/>

高校側からの要望により、会員大学のオープンキャンパス情報を一元化し、2017（平成 29）年より大学コンソーシアム大阪のホームページへの掲載を始めている。2018（平成 30）年 6 月にはスマートフォン用ページを新設し、情報が行きわたるよう各教育委員会を通じて、高等学校への周知を図っている。

課題 2 単位互換プログラムの充実

	会議	行事
30. 4. 17		前期 単位互換センター科目開講
5. 17	平成 30 年度大学間連携部会 推進委員会・ 単位互換実務委員会 合同会議（第 1 回） ・平成 30 年度大学間連携事業報告 ・中期計画に基づく課題の検討 ・単位互換の大学での取り扱いについて	
7. 5	平成 30 年度大学間連携部会 推進委員会・ 単位互換実務委員会 合同会議（第 2 回） ・「単位互換制度アンケート」集計結果報告 ・今後の事業運営について意見交換	
7. 21		前期 単位互換センター科目終了
8. 29		平成 30 年度 単位互換 追加募集開始 (9/19 まで)
9. 13		集中 単位互換センター科目終了
9. 22		後期 単位互換センター科目開講
10. 9	平成 30 年度大学間連携部会 推進委員会・ 単位互換実務委員会 合同会議（第 3 回） ・30 年度事業報告 ・次年度事業の検討 ・タイプ 5 進捗報告	
12.11	2019 年度 単位互換事業説明会	
1.24	平成 30 年度大学間連携部会（第 1 回） ・平成 30 年度事業進捗報告 ・タイプ 5 進捗報告 ・平成 30 年度事業の評価 ・次年度の方向性について	

（取組 1）＜単位互換の充実＞

事業概要・実施状況：<https://www.consortium-osaka.gr.jp/univ/tg/>

- ・センター科目 ... 科目数 11 科目、出願者数 431 名
- ・オンキャンパス科目 ... 科目数 359 科目、出願者数 162 名

2018（平成 30）年度の出願者数は、オンキャンパス科目は対前年度比・3 割減（昨年度 205 名）となった。センター科目は春募集にて募集延長などの対応を行ったが、結果ほぼ横ばい（昨年度 427 名）となった。

（取組 2）＜プログラムの充実＞

中期計画の事業方針のもと、各大学が行う寄附講座をセンター科目にて提供してもらい、集中講義科目を増やすといった、学生にとって魅力ある科目の開発を行い、学生が受講しやすい方策などについて検討を行うこととしている。

3 インターンシップ事業

事業概要・実施状況：<https://www.consortium-osaka.gr.jp/assets/images/pdf/2018intern.pdf>

	会議	行事
30. 4.20		大阪商工会議所・大学コンソーシアム大阪共催 インターンシップ導入セミナー (会場：大阪商工会議所)
4.25	平成 30 年度 推進委員・コーディネーター合同会議 (第 2 回) ・企業・団体エントリー状況報告 ・面接、事前・事後研修について ・プロジェクト型インターンシップについて	
5.9 5.19		学生向け説明会 ・プログラム概要について ・出願～実習のスケジュールについて
5.16		学生出願開始 (5/31 まで)
6.10		面接・選考 (会場：イオンコンパス大阪)
7.1		事前研修 (会場：大阪経済大学)
8-9 月		実習期間
9.7	平成 30 年度 推進委員・コーディネーター合同会議 (第 3 回) ・事後研修について ・2019 年度の計画について	
		平成 30 年度 プロジェクト型インターンシップ 成果報告会
9.30		事後研修 (実施報告会・交流会) 【台風のため中止】
11.19	平成 30 年度 推進委員・コーディネーター合同会議 (第 4 回) ・2019 年度事業方針検討 ・平成 30 年度事業報告 ・タイプ 5 進捗報告	
31. 1.23	平成 30 年度 インターンシップ部会 (第 1 回) ・平成 30 年度事業報告および評価 ・2019 年度の方向性について ・部会設置要綱について ・タイプ 5 進捗報告	
3.20		2019 年度 インターンシップ・プログラム事業説明会 ・実務スケジュール、フローについて ・学生募集ガイドについて

(取組 1) <就業体験型インターンシップ>

出願者数 27 大学 159 名、実習者数 23 大学 136 名

企業・団体エントリー数 111 社 (団体)

就業体験型インターンシップでは昨年の協力先に加え、新たに大阪商工会議所の協力を得て、企業等へ実習生の受け入れを依頼した。また、今回初の試みとして、大阪商工会議所と共催し、自社でのインターンシップ導入に関心のある企業 (商工会議所会員企業が対象) に向けて「イ

ンターンシップ導入セミナー」を開催した。当日は、プラットフォーム形成大学より、大阪経済大学 進路支援部 三井 規裕氏に講師として協力いただき、会員企業 38 社 45 名の参加があり、盛況のうちに終えた。

(取組 2) <プロジェクト型インターンシップ>

大阪市経済戦略局と協力し、「大阪テクノマスター（市のものづくり産業において、卓越した技術をもち、その技術の継承や新しい分野への挑戦に積極的に関わる人材として認定された者）の在籍企業の魅力発信」を学生目線で考え提案するプロジェクトを実施した。

テーマ：「大阪のあつついものづくり PR プロジェクト」… 出願者数・実習者数 2 大学 2 名

4 グローバル化に対応できる学生や教職員を目指すための機会の提供

	会議	行事
30. 4.16	平成 30 年度国際交流部会 推進委員会 (第 1 回) ・平成 30 年度事業の検討 ・留学生支援について	
5.10		APSSA 国際会議 2018 派遣学生 面接 (5/10、11)
6.14		APSSA 国際会議 2018 事前研修 全 4 回(6/14、21、28、7/12)
6.16		グローバル人材育成講座 (基礎編) (6/16、17)
7.9	平成 30 年度国際交流部会 推進委員会 (第 2 回) ・大阪台北高等教育会議 (仮称) の検討 ・グローバル人材育成事業の進捗報告	
8.5		APSSA 国際会議 2018 へ学生派遣 (~ 8/11)
9.18	平成 30 年度国際交流部会 推進委員会 (臨時) ・国際学生会議の検討	
10. 4	平成 30 年度国際交流部会 推進委員会 (第 3 回) ・大阪台北高等教育会議 (仮称) の検討 ・学生国際会議の検討 ・留学生支援について ・グローバル人材育成事業進捗報告	
10.13		国際交流イベント (~10/20)
10.24		グローバル人材育成講座 (実践編・国際 協力編、~10/26)
10.27		グローバル人材育成講座 (実践編・経済 活動編、10/27、28、11/3)
31. 1.28	平成 30 年度国際交流部会 推進委員会 (第 4 回) ・平成 30 年度事業報告 ・タイプ 5 の進捗 ・大阪台北高等教育会議の検討 ・学生国際会議の検討 ・留学生支援について	

	・グローバル人材育成事業進捗報告	
1.29	平成 30 年度国際交流部会（第 1 回） ・平成 30 年度事業報告 ・タイプ 5 の進捗 ・平成 30 年度事業の評価 ・次年度の方向性について	
2.21	平成 30 年度国際交流部会 推進委員会 （第 5 回） ・学生英語プレゼンテーションコンテストの検討 ・大阪台北高等教育会議について ・グローバル人材育成事業について	

（取組 1）＜他国・他地域との交流＞

【日台国際交流事業】

台湾財団法人高等教育国際合作基金会との交流の一環として、2019 年 10 月 24・25 日に大阪にて「高等教育会議」の開催が決定した。現在、その企画内容について FICHET と協議・調整中である。

（取組 2）＜グローバル人材育成事業＞

【グローバル人材育成講座、国内学生・留学生国際交流イベント】

事業概要・実施状況：https://www.consortium-osaka.gr.jp/assets/images/pdf/global_report_2018.pdf

6 月中旬から 11 月上旬にわたり、「グローバル人材育成講座（基礎編）・（実践編）」、「国内学生・留学生国際交流イベント」を開催した。本事業は、講師派遣などで関西経済連合会、太平洋人材交流センター（PREX）に加え、新たに大阪府政策企画部の協力を得て実施した。

・グローバル人材育成講座

基礎編、実践編（経済活動、国際協力の 2 コース）を 2 日または 3 日間の短期集中で開講し、経済活動と国際協力の観点から、学生ワークショップを通じて「グローバル人材」としての必要な資質について学んだ。

《参加状況》

- ・基礎編 7 大学 17 名／定員 20 名
- ・実践編 国際協力コース 7 大学 19 名 延べ 32 名／定員各日 20 名
- ・実践編 経済活動コース 8 大学 16 名／定員 20 名

・国内学生・留学生 国際交流イベント

国内学生と留学生が「大阪」をキーワードに交流を深め、異なる文化の立ち位置からの見方を学び、世界への関心や視野を広げることを目的に開催する。「大阪のまちあるき」や「在阪企業の工場見学」、大阪発のグローバルサービスを学生自らが企画する「アイデアソン（アイデア+マラソン）」といった活動を通じて交流を深めた。

《参加状況》 4 大学 19 名（うち留学生 11 名）／定員 30 名

【APSSA 国際会議 2018 への学生派遣】

事業概要・実施状況：<https://www.consortium-osaka.gr.jp/univ/global/haken/>

SD 研修事業の一環として、APSSA 国際会議（マレーシア・クアラルンプールにて開催）への参加にあたり、国際会議の趣旨が「職員が携わる学生のリーダーシップ育成」であることから、本法人から 10 名までの学生に対し参加費（約 3 万円/名）を補助し、試行として派遣を行った。

《学生派遣実績（国際交流部会推進委員会、研修部会推進委員会にて書類選考、面接のうえ決定）》

6 大学 15 名（大阪大 2 名、大阪府立大 1 名【うち留 1 名】、大阪市立大 3 名、
大阪女学院大 5 名【うち留 2 名】、関西大 3 名【うち留 1 名】、関西外国語大 1 名）

5 学生主体の地域連携促進による大阪の活性化

	会議	行事
30. 5.24		学生フォーラム 学生企画ミーティング（第 1 回） キックオフ ※以降、毎月 1 回程度実施
10.2		事前交流会
10.14		学生フォーラム当日
11.1		学生フォーラム 学生企画ミーティング（第 9 回） 反省会
12.21	平成 30 年度地域連携部会（第 1 回） ・平成 30 年度事業評価 ・次年度の方向性 ・府との PBL 型授業の連携について ・タイプ 5 の進捗報告	

（取組 1）＜地方自治体からの受託事業＞

大阪市の局とはこれまで受託事業などの実績があったが、区との関係が希薄だったことから、まずはプラットフォームの紹介と今後の連携の可能性についての意見交換のため、経済戦略局の紹介により 6 件（（東成区、鶴見区、旭区、城東区、生野区、西淀川区）の訪問が実現できた。

（取組 2）＜地域連携事業＞

【地域連携 学生フォーラム in 大阪 2018】

事業概要・実施状況：<https://www.consortium-osaka.gr.jp/assets/images/pdf/frm-osaka-2018.pdf>

学生が地域と関わりながら取り組む研究活動や事業実施の内容について、学生（会員大学からの公募）による発表交流会を開催しており、5 回目を迎える今回は、学生主体のイベントとすべく、有志学生の企画メンバー（4 大学 15 名）が参画し、フォーラムの企画や当日の運営などを行った。

フォーラムは、10 月 14 日に近畿大学 実学ホールにて行われ、当日 7 大学 8 事業の発表を行い、

68名が来場し、盛況のうちに終了した。

【地域連携担当者情報交換会】

地域連携情報交換会については、過去に大阪を4ブロック（大阪市、北部、東部、南部）に分け、エリアごと自治体・大学担当者の意見交換会を開催していたが、再開にあたり、特定テーマを設定するなど、これまでとは形を変えての実施を検討している。

自治体のニーズについては、今後上記を開催する折の意見交換などで収集する予定。

6 学生ボランティア事業の充実

（取組1）＜国際イベントへの学生参加の検討＞

【G20サミットへの協力】

大阪府からG20サミット大阪の開催に伴った学生ボランティアの派遣について相談があり、周知方法や選定などについて意見交換を行った。本プラットフォームからの周知を受け、大学は派遣する学生のレベルアップのため、これに積極的に参画し、学生にとっては大阪で開催される国を挙げての催しに参加できるといった貴重な機会が得られた。

【国連アカデミック・インパクトへの参加にかかる働きかけ】

プラットフォーム形成大学に対して国連アカデミック・インパクト参加への働きかけを行い、2018(平成30)年12月現在時点で10大学※となった。※従来からの参加大学を含む。

（取組2）＜観光・集客にかかる学生参加の検討＞

大阪市城東区役所（保健福祉課子育て教育担当）より区内小学校のボランティアや臨時教員の募集広報について連携希望があり、意見交換を行った。今後このような形でプラットフォーム形成大学へも区の課題や取り組みを共有することで具体的な連携へと繋げていきたい。

（取組2では観光・集客や子ども支援にかかる学生参加の企画案の策定を行う。）

課題7 社会との多様な接点の創出によるアクティブ・ラーニングの充実

（取組1）＜学生による企画・運営事業の創出＞

※中期計画では、2019（平成31）年度以降に実施予定であり、今年度は評価を行わない。

（取組2）＜学生による成果発表の場の創出＞

大阪市東成区役所（企画担当）より市内3区（東成区、中央区、住之江区）の課題を解決する「外国人留学生との連携拡大及び起業支援業務委託」（プロポーザル方式）の情報提供があり、各区のニーズとアクティブ・ラーニングの成果発表の方法を把握することができた。

課題8 内なる国際化の推進

(取組1) <留学生の環境整備>

【公的住宅活用にかかる情報共有】

留学生支援の一環として、公的住宅を留学生の居住先として検討する案が出され、プラットフォーム形成大学に対し、留学生寮の実態やニーズに関する調査を行った。

結果、寮の不足や施設の老朽化、また近隣トラブルなど、様々な課題が散見された。この結果をもとに検討を進めたい。

【APSSA 国際会議（マレーシア）を踏まえた国内イベントの企画】

国内学生・留学生の交流機会として、2018(平成30)年度 APSSA 国際会議に派遣した学生（留学生を含む）を企画に参画させ、プラットフォーム形成大学間の英語プレゼンテーションコンテストを開催する方向で現在検討を進めている。

6 SD 研修の更なる充実

	会議	行事
30. 4.1	研修部会 発足 研修部会推進委員会発足	
4.3		サロン（第1回）学生と創る大学広報
5.15	平成30年度研修部会（第1回） ・法人の中期計画について ・推進委員会の設置および委員の選出について ・研修事業の方針および計画案について	
5.21	平成30年度研修部会推進委員会（第1回） ・法人の中期計画について（報告） ・研修部会推進委員会について ・研修事業の方針および計画案について	
5.28		サロン（第2回） 大学連携によるSD・FD事業
6.18		サロン（第3回）【地震のため中止】 多様な学生の受入れ～アメリカの事例から学ぶ～
6.28		海外SD研修（マレーシア）事前研修会（第1回）
7.12		サロン（第4回） マレーシア高等教育事情（兼 第2回 海外SD研修（マレーシア）事前研修会）
7.18		初任者研修
8.5～11		海外SD研修（マレーシア）
9.5		サロン（特別版WS）【台風のため中止】 FD/SD研修：多様な学生の受入れ～アメリカの事例から学ぶ～
9.6	平成30年度研修部会推進委員会（第2回） ・SD講師養成研修の内容について ・次年度の海外SD研修について ・サロン参加証の発行について ・大阪台北高等教育会議（仮称）について	

9.21		サロン（第5回） 海外SD研修(マレーシア) & APSSA 国際 会議参加学生 報告会
10.04		サロン（第6回） 育児・介護・体調不良でも辞めなくてもすむ職場づくり
11.12		サロン（第7回） 教え方は学べます～ID（インストラクショナルデザイン） の基本的な考え方～
11.15	研修部会推進委員会（第3回） ・平成30年11月以降の研修について ・次年度事業の検討 ・愛媛大学(教職員能力開発拠点)との連携 について ・「事前確認書」について ・「海外SD研修」参加者アンケートについて ・平成30年度事業報告 ・タイプ5進捗報告 ・講師謝金謝礼基準について	
11.21	平成30年度研修部会（第2回） ・平成30年11月以降の事業の検討 ・次年度事業の検討 ・愛媛大学(教職員能力開発拠点)との連携 ・「事前確認書」について ・平成30年度事業報告 ・タイプ5進捗報告 ・講師謝金謝礼基準について	
12.07		サロン（第8回） 戦略的定員割れと教職協働 ～身を切る決断で未来を拓く～
30. 1.10		サロン（第9回） 「多様な学生の受入れ」を進めるために
1.24	平成30年度研修部会（第3回） ・平成30年度の事業の評価について ・「国際化推進担当者研修」について ・次年度の方向性について ・部会設置要綱、推進委員会設置内規について ・平成30年度事業の進捗について ・愛媛大学(教職員能力開発拠点)との連携 ・「事前確認書」について	
2.14		SD 講師養成研修
(予定) 3.15		国際化推進担当者研修

（取組1）＜SD研修の戦略的な実施＞

今年度プラットフォーム形成大学の教職員を主な対象とした研修を本格化させるべく、大学コンソーシアム大阪に「研修部会」を新たに設置し、研修事業の基盤づくりのため初年度はコーディネーターを1名配置して事業を推進した。

研修、勉強会あわせて参加者数は延べ約300名と昨年の64名から大幅に増加し、満足度はほぼ100%と高評価を得ることができた。今後は研修、勉強会ともにプラットフォーム形成大学のニーズを踏まえながら、時宜を得た内容での実施に努めたい。

【各種研修】

事業概要・実施状況：<https://www.consortium-osaka.gr.jp/staff/sd/old/>

《参加者内訳》

初任者研修（7月18日）	14 大学（うち会員外 4）、21 名（うち会員外 4）
海外 SD 研修（マレーシア）（8月5～11日）	6 大学（うち会員外 2）、8 名（うち会員外 2）
SD 講師養成研修（2月14日）	13 大学（うち会員外 3）、14 名（うち会員外 3）
国際化推進担当者研修（3月15日）	16 大学（うち会員外 1）、21 名（うち会員外 1）

各種研修は、初任者研修 SD 講師養成研修、海外 SD 研修などといった幅広いテーマでの各種研修を継続実施した。

また、2019年10月に台湾財団法人高等教育国際合作基金会との高等教育会議が大阪で予定されており、その時宜を得て SD の協働実施を台湾側に打診したが、台湾側で国や大学の補助が得られず、職員の来日が難しかったことから実現できなかった。以降は日本側が訪問する折に実施するなど、台湾側の意向も踏まえた協働研修を検討したい。

【Salon De 大学コンソーシアム大阪（SD 研修勉強会）】

事業概要・実施状況：<https://www.consortium-osaka.gr.jp/staff/sd/salon/>

今年度から新たにプラットフォーム形成大学の教職員の自己研鑽と相互交流の場として、SD 勉強会を8回開催した。第6～8回は研修部会推進委員の協力のもと、プラットフォーム形成大学を会場に実施した。

《Salon De 大学コンソーシアム大阪 参加者内訳》

【第1回】	13 大学（うち会員外 3）、29 名（うち会員外 3）
【第2回】	13 大学（うち会員外 3）、20 名（うち会員外 3）
【第3回】	地震のため中止
【第4回】	11 大学（うち会員外 7）、15 名（うち会員外 9）
【特別版】	台風のため中止
【第5回】	13 大学（うち会員外 6）、20 名（うち会員外 6）
【第6回】	21 大学（うち会員外 8）、37 名（うち会員外 8）
【第7回】	20 大学・団体（うち会員外 5）、47 名（うち会員外 6）
【第8回】	28 大学（うち会員外 11）、43 名（うち会員外 12）
【第9回】	16 大学・団体（うち会員外 4）、25 名（うち会員外 7）